

研究課題「メタボリック・シンドローム関連疾患における 個別化医療の実現」 にご参加いただいている方へ

当院では2011年から、日本人における糖尿病などメタボリック・シンドローム関連疾患の遺伝素因、糖尿病治療薬などの反応性・副作用の遺伝素因を解明して糖尿病の発症予防や個別化医療への応用をはかり、メタボリック・シンドローム関連疾患患者やその合併症の増加抑制に寄与することを目的としています。（日本医療研究開発機構「糖尿病の遺伝・環境因子の包括的解析から日本発次世代型精密医療を実現するプロジェクト」研究代表者 虎の門病院/東京大学 門脇 孝）。

【研究課題】

メタボリック・シンドローム関連疾患における個別化医療の実現

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と本学の研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学大学院医学系研究科・糖尿病・代謝内科

研究責任者 山内敏正・糖尿病・代謝内科・教授

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 東京大学、大阪大学、理化学研究所、琉球大学、東京医科歯科大学、東北大学、岩手医科大学、名古屋大学、九州大学、国立がん研究センター
順天堂大学、滋賀医科大学

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2011年10月17日～2023年3月4日

【対象となる方】

2011年10月から当院や共同研究機関において糖尿病で受診されて本研究課題に参加されている方、糖尿病または非糖尿病でバイオバンク・ジャパンに参加されている方

【研究の意義】

糖尿病などメタボリック・シンドローム関連疾患の遺伝素因、糖尿病治療薬などの反応性・副作用の遺伝素因を解明して、糖尿病の発症予防や合併症が予測できる可能性について明らかにいたします。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている診療情報、血液検査や尿検査結果のデータを収集して行う研

究です。採血したサンプルからわかる遺伝子型について、コンピューター解析で推定して関連解析を行うことで新たな2型糖尿病感受性遺伝子（多型）を探索します。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

診療情報、血液検査や遺伝子型の情報・データは、東京大学、大阪大学、理化学研究所で解析され、糖尿病の発症に関連する遺伝子などを明らかにします。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

これまでの診療でカルテに記録されている情報、血液検査や尿検査結果などの情報・データは、東京大学、大阪大学、理化学研究所に送られ解析されますが、送付前に氏名・住所等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において個人情報管理者のみが使用できる鍵のかかるロッカーで厳重に保管します。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。本研究で取得、生成されたゲノムデータや臨床情報などのデータは、個人が特定出来ない形式でNBDCヒトデータベース、AMEDゲノム制限共有データベース (AGD)、などの学術データベースに登録されます。ご不明な点がございましたら主治医または下記へお尋ねください。

この研究に関する費用は、日本医療研究開発機構「糖尿病の遺伝・環境因子の包括的解析から日本発次世代型精密医療を実現するプロジェクト」研究代表者 虎の門病院/東京大学 門脇孝) から支出されています。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科 糖尿病・代謝内科
糖尿病の遺伝・環境因子の包括的解析から日本発次世代型精密医療を実現する
プロジェクト 事務局
住所：東京都文京区本郷7-3-1
電話：03-3815-5411（内線 35590）
FAX：03-5800-9161

2021年3月